



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和2年7月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

「学校で学んだことを生かせるように」

校長 岡本 修一

新型コロナウイルス感染拡大により、世界中で多くの方が亡くなり、今なお入院、治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

6月21日からは、まん延防止等重点措置を実施すべき区域に移行し、引き続き感染防止対策をしております。ご協力お願い致します。

1学期も、いよいよあと3週間となりました。7月は1学期のまとめの月でもあります。各学級では1学期を振り返り、生徒たちが自分自身の成長と、さらに努力すべき点についてしっかりと理解できるようにしていきます。今月は、各学級において個人懇談会を開催します。1学期のお子様のようすや夏季休業中の過ごし方などについて懇談をいたします。



【令和3年度から新学習指導要領が実施になりました】

新しい「学習指導要領」に基づく教育課程が始まりました。「学習指導要領」とは、全国どここの学校でも一定の教育水準を保つことができるように文部科学省が作成し、各学校が教育課程（カリキュラム）を作る際の参考にする基準のことです。時代と共に変化する社会や子どもの様子に対応するために、およそ10年に一度改定されてきました。改定の背景にはグローバル化の進展、少子高齢化と人口減少、環境問題への対応や持続可能な社会の実現、AI（人工知能）の活用の進展の社会情勢の変化があげられます。これから生きる子どもたちに必要とされる資質・能力を培うためには、学習内容の変更だけでなく、授業で「どのように学ぶか」といった視点が重要になります。その視点が「主体的・対話的で深い学び」です。今では変わりつつありますが、日本人の学びは、明治以来、知識の暗記重視、詰め込み教育ともいわれてきました。今日、子どもたちに求められる資質は、学んだ知識や技能を基に様々な課題に対し主体的・能動的に解決する能力であり、考える力を伸ばし、対話を通し深める学びの実現です。今回の改訂では「主体的・対話的で深い学び」を、すべての教科等で積極的に取り入れることが求められています。たとえば、「見通しをもって作業したり、粘り強く取り組んだりする」「学習した内容を振り返り、次の学びに生かす」「グループなどの話し合いを深める」「これまで学んで得た知識をつないだり生かしたりして考える」などの活動を各教科等にふさわしい方法で取り入れるということです。

その際、生徒たちが、生徒同士や教師とはもちろん、時には保護者、地域の皆さまとの対話を通して深いまなびとなるように授業を工夫することが大切になります。

【令和3年度学習計画と観点別評価の目標を作成しました】

新しい学習指導要領に基づいた教育が行われることに伴い、本校では、生徒たちの学習状況を見取る「令和3年度学習計画と観点別評価の目標」を作成し、すでに各ご家庭に配布してお

ります。改定された学習指導要領が、各教科の評価の目標を①「知識・技能」（知識及び技能の習得状況と、それらを他の学習や生活で活用できる程度に概念を理解したり、技能を修得したりしているか）、②「思考・判断・表現」（知識及び技能を活用して課題を解決するための必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか）、③「主体的に学習に取り組む態度」（自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているか）の3つの観点で作成しています。

各教科の目標に照らし、実現状況を観点ごとに次のように評価します。

「十分満足できる」状況と判断されるもの : A

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : B

「努力を要する」状況と判断されるもの : C

各教科の評定は、各教科の目標に照らして、その実現状況を次のように評価します。

「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの : 5

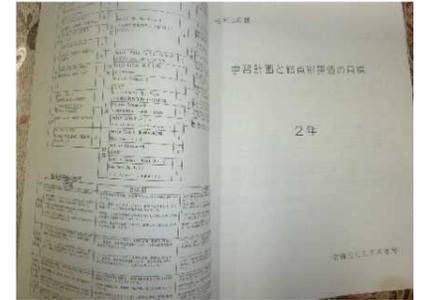
「十分満足できる」状況と判断されるもの : 4

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : 3

「努力を要する」状況と判断されるもの : 2

「一層努力を要する」状況と判断されるもの : 1

右の図のように、社会に出てからも学校で学んだことを生かせるように、3つの力をバランスよく育みます。それにともない、評価の在り方も変わりました。子どもたちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭や地域での経験を学校生活に生かしたりすることが大切です。子どもたちが、学校で学んだことについて、ご家庭、地域でも、ぜひお話ししてください。



【熱中症を知り、熱中症を防ぐ！】

熱中症は体の機能（グリなど脱水状態、寝不足や体調不良、肥満傾向、朝食を摂らないなど低栄養状態など）と環境（気温・湿度が高い、風が弱い、急に暑くなった日など）が相まって起きます。

熱中症を防ぐには、

- ① のどが渇く前にこまめに水分補給をする。朝食や昼食で塩分をとる。（お弁当に梅干しやお漬け物を入れてもらうなど）
- ② 体調不良や暑い時には無理な運動はしないこと、休憩を取ることです。また、毎日しっかり睡眠をとる。
- ③ 熱や汗を逃がす。体育がある日は肌着の替えを持ってきたり、防具を身につけるスポーツでは、休憩中には防具を取って熱がこもらないようにしたりしましょう。※参考文献 「立花中ほけんだより 6月号より抜粋」

【お知らせ】

昨年度、制服についてのアンケートを実施しましたが、今後、制服検討委員会（仮称）において、いただいたご意見を参考に、本校の制服に盛り込むべき機能や、デザイン等の方針について検討していく予定です。令和4年度は現行の制服となります。よろしくご協力致します。

